

2021年度 支援団体向け調査報告書 (概要版)



2021.12.8

おてらおやつクラブに登録している支援団体について、
活動実態や、当団体および関わりのある寺院との関係性を把握する。



仏さまやご先祖さまに感謝の気持ちを込めて、お寺でいただいた食べ物がおそなえされます。

子どもや子育て支援者への活動サポートのため、お寺からの「おさがり」をおすそわけします。

お寺や支援団体の活動に協力するために、お寺や支援団体の訪問する際に持参されたりして、子どもたちに届きます。

マッチング

なるべく近くのお寺と支援団体がマッチングされ、

子どもたちにおやつが届きます



調査目的	おてらおやつクラブに登録している支援団体について、団体の活動実態および、おてらおやつクラブやおすそわけを送付する寺院との関係性を把握し、今後の示唆とする。
調査手法	インターネット調査
調査対象	おてらおやつクラブに登録している525団体のうち、団体代表およびそれに準ずる方
調査時期	2021年10月8日（金）～10月31日（日）
有効回答数 （回答率）	423サンプル（80.6%）

1

支援団体によって、受取るおすそわけの量・頻度はまちまちだが、9割強の団体がおすそわけに満足し、ほぼ全ての団体が今後も連携を希望。

2

おてらおやつクラブへの登録によって、心理的に状況が改善した団体は8割強。おすそわけの活動により、寺院との交流が生まれている団体は4割弱。

3

コロナ禍による支援要請の増加で、支援団体の活動は逼迫。おてらおやつクラブからの支援による経済的な改善状況は、心理的なものに比べて効果が低減。

「おてらおやつクラブ」の活動は全国に広がっていますが、活動開始からしばらくの間、奈良のお寺から東京の団体さまに「おすそわけ」したり、北海道のお寺さまから新潟の団体さまに「おすそわけ」したりと、なんとも悩ましい状況が長く続いていました。

2016年にお寺さま、2018年には団体さまが、全国すべての都道府県で一つ以上ご登録いただく状態になりました。ようやく地域のお寺さまと団体さまをおつなぎする活動へと進んできました。

そして現在のコロナ禍、地域の団体さまへの支援要請は増大しています。そんな団体さまを支える地域のお寺さまの「おすそわけ」が今まで以上に必要なものとなっており、そして何より心強いのは、多くの団体さまやお寺さまが「おすそわけ」を通じて様々な交流を深めてくださっていることです。

それぞれの地域で「おすそわけ」を通じたご縁が、地域に根ざした見守り、助け合いの活動へと着実に発展していくことを感じさせてくれる今回の調査でした。

松島靖朗／認定NPO法人おてらおやつクラブ 代表理事

おてらおやつクラブさんの活動にカンパイ！

2020年4月、わたしたちしんぐるまざあず・ふぉーらむにはシングルマザーからの「たすけての声」が次々届いていました。毎日毎日、メールの返信をし、食料支援を送り、希望を届け、制度につなぎ、「なんとか生き延びていって」と思って必死でした。みなさん仕事がなくなり収入が途絶え、学校や保育園が休みで働けず、明日食べるものがないという状況に追い込まれていたのです。そんなときにおてらおやつクラブさんが、うちからも食品を送りましょう！と言ってくださり、どんなにうれしく心強かったか。

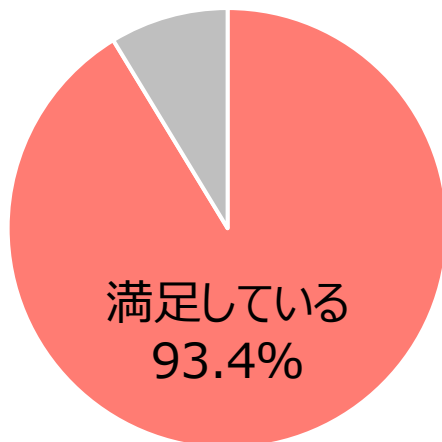
今回、おてらおやつクラブの調査結果をみて、連携している団体がどこも必死でコロナ禍で大変な思いをしている子どもと家庭を支援してきたこと、おてらおやつクラブの活動がその支えになっていること、でももっともっとリソースが必要だということがわかりました。

未曾有の大災害の状況になったコロナウィルスの感染拡大下、おてらおやつクラブさんは支援団体を通じた支援だけでなく、直接支援に活動を広げられました。それは当然の流れだったのでしょう。調査結果からは、コロナが低所得層に深刻な打撃を与えていること、支援が届くことが支えになっていることがわかります。社会のインフラとして、おてらさんの強みを生かし、さらに津々浦々でひっそり暮らす大変な家庭の子どもたちに支援が届くことを願っています。

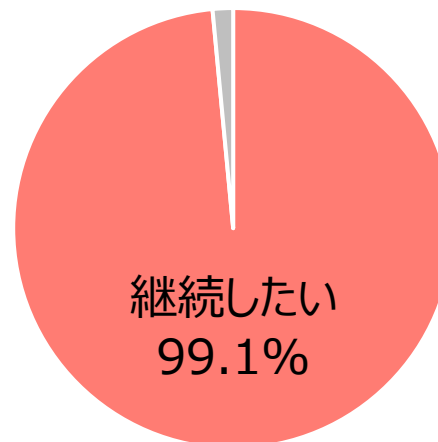
赤石千衣子様／認定NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ 理事長

支援団体によって、受取るおすそわけの量・頻度はまちまちだが、
9割強の団体がおすそわけに満足し、ほぼ全ての団体が今後も連携を希望。

Q. おすそわけの内容・量に対する満足度



Q. おてらおやつクラブ継続意向



・こちらが頂いて助かるものを覚えてくださったり、期限をみてとどけてくださったりと、お忙しいところでしょうに、どのお寺の方もとても丁寧に温かく対応して頂いています。（ひとり親家庭支援）

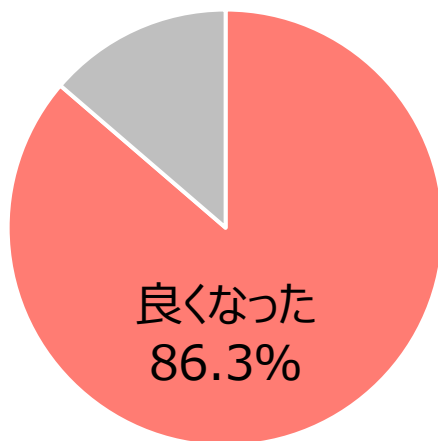
・遠くから見知らぬ私たちの団体を信じて送って下さることに感謝していますし、お手紙に優しい言葉があり涙が出るほどうれしいです。（DV被害者支援）

・食品支援というどうしても備蓄からの寄付が多く、備蓄品特有の硬さや匂いなどで子どもが食べられないものが多いのが現実です。その中でおてらおやつクラブさんには、備蓄品ではないものをいただけるのでとてもありがたく思っております。（自立・生活支援）

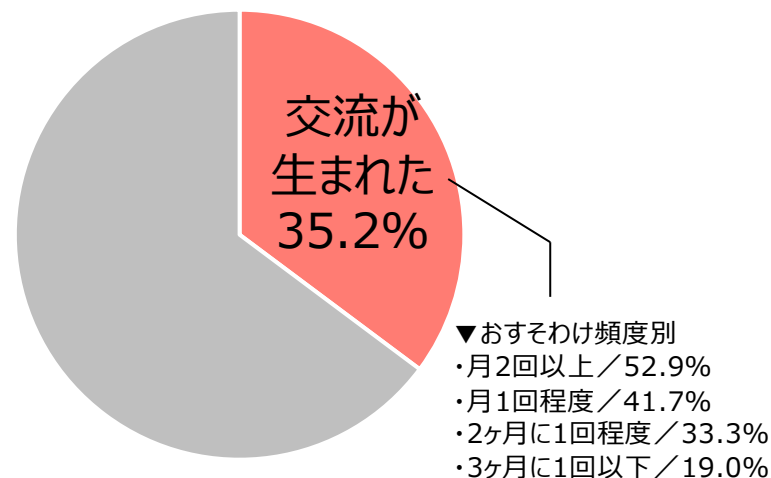
おてらおやつクラブへの登録によって、心理的に状況が改善した団体は 8 割強。

おすそわけの活動により、寺院との交流が生まれている団体は 4 割弱。

Q. おてらおやつクラブ登録後の
心理的状況の変化

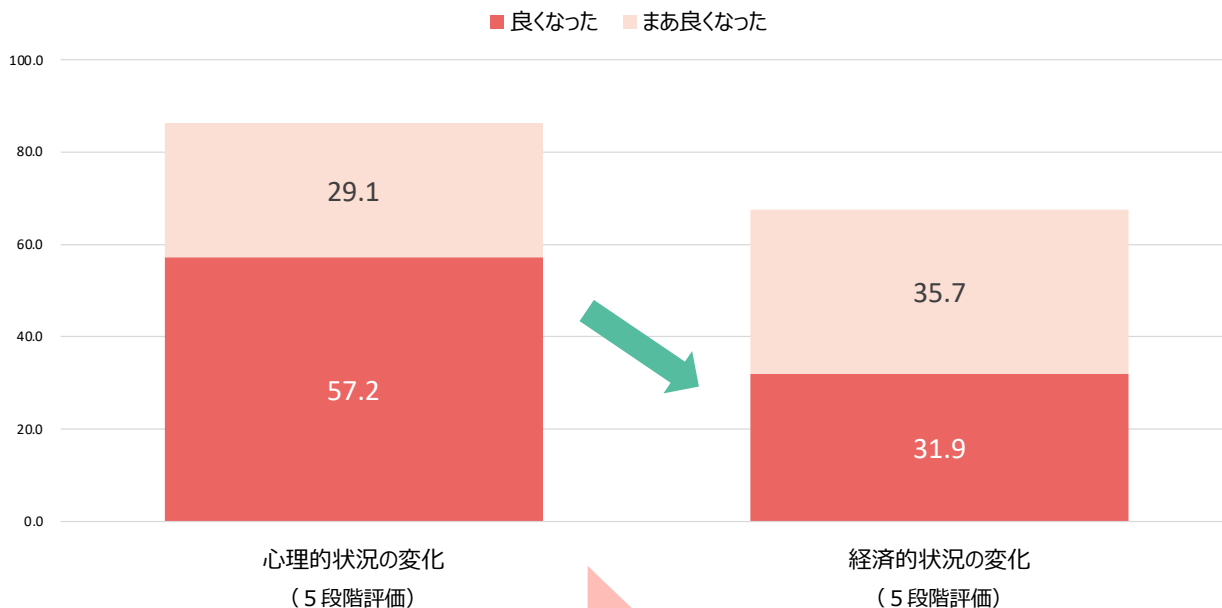


Q. おすそわけ受取り後の寺院との交流



- ・お届け頂いた際に、ご住職様と色々話せ、応援しているとお言葉を頂くと大変心強い。(ひとり親家庭支援)
- ・おやつのお礼の電話の際、頑張ってくださいなどのお声をかけて下さり、自分の活動を認めてくれる人がいると思うだけで、頑張ることができています。(学習支援)
- ・ご支援いただくお寺様とお会いしてお話したり、お電話でお話するたびに心が温かくなります。子どもたちが支援品を受け取る姿の写真をお寺様にお見せした時に本当に喜んでくださったことで、私たちの活動のモチベーションアップにもつながりました。(フードパントリー)

コロナ禍による支援要請の増加で、支援団体の活動は逼迫。おてらおやつクラブからの支援による経済的な改善状況は、心理的なものに比べて効果が低減。



・経済的に昨年のコロナ禍で支援希望者が増え、それに伴い経費もかかり厳しいです。それでもおすそ分けいただき助かっております。(フードバンク)

・支援が定期的に届く安心感があります。ただ支援を希望されてるひとり親世帯や学生さんが増えてきており、支援品が行き届かない実情があります。(フードパントリー)

・正直、こちらの支援している家庭数が多すぎて、行き渡るほどではない。(ひとり親家庭支援)

名称	認定NPO法人おてらおやつクラブ
所在地	〒636-0311 奈良県磯城郡田原本町八尾40
活動開始	2014年1月1日
認定NPO法人認証	2020年11月27日
Webサイト	https://otera-oyatsu.club
代表者	代表理事 松島靖朗
役員	理事 高山信雄 理事 野田芳樹 理事 福井良應 理事 桂 浄薫 理事 松野尾浩慈 監事 井出留美 監事 渡邊元浄
相談役	森本公穰